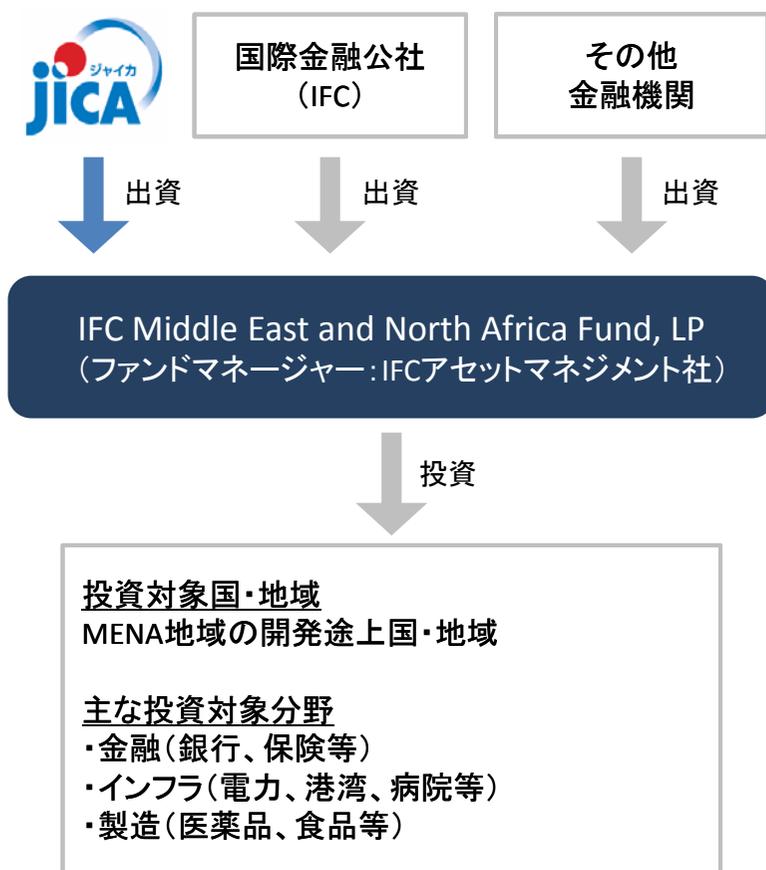


中東・北アフリカ支援ファンド（海外投融資 出資事業）

【事業の概要】

中東・北アフリカ(MENA)地域において、IFC アセットマネジメント社(AMC) が設立した投資ファンドへの出資により、金融、インフラ、製造等の事業に従事する企業・事業に投資を行うことにより、雇用創出等を図り、同地域の民間主体の経済成長に寄与するもの。

※ IFCが100%出資する資産運用会社。当社は、IFCとの協力協定に基づき、案件発掘、審査、リスク分析等の包括的支援を受ける。



【事業の意義】

1. MENA地域の経済・社会安定化に貢献

- ✓ MENA地域では、若年層を中心に高い失業率が課題。
- ✓ 海外直接投資は「アラブの春」以前の水準を下回る。
- ✓ 本ファンドにより民間投資を促進することで、雇用創出等を図り、民間主体の経済成長、ひいては同地域の経済・社会安定化に貢献。

2. IFCとの連携によるMENA地域支援の裾野拡大

- ✓ 我が国「開発協力大綱」(2015年8月)では、国際機関との積極的な連携により二国間協力でアクセス困難な分野・地域への協力を行っていく旨、明記。
- ✓ IFCは新興国向け投資で50年以上の実績を有し、MENA地域でも豊富なネットワークに基づき積極的に投資活動を行っており、IFCが支援する本ファンドへの出資を通じ、MENA地域支援の裾野拡大が期待される。

3. 日本企業への貢献

- ✓ 本ファンドへの投資を通じて得られる同地域の投資関連情報を日本企業に対して提供し、今後の進出に寄与するよう努める予定。